

# HS 小型空気弁メンテナンス手順書

この手順書は、弊社製HS小型空気弁（以下、空気弁）のメンテナンスを行う際の手順書です。メンテナンスを行なう前によく読んで内容を理解した上で作業を進めて下さい。

## 1. 基本事項

- メンテナンス終了後は、充水状態で外部への漏水がないことを確認してください。
- メンテナンス時は、モータレンチ等を使用してください。

## 2. メンテナンス基本手順 1

充水状態で外部への漏水が発生している場合は、小空気口または大空気口に異物が噛み込んで止水を妨げている可能性があります。この場合は、以下の方法でメンテナンスを行ってください。

### (1) 空気弁を配管から取り外す

- ①空気弁直下の止水栓を閉栓する。
- ②空気弁を配管から取り外す。

※空気弁を取り外す際は、弁箱にあるレンチ掛け部以外に工具を掛けしないでください。破損・変形の原因となります。また、取り外し時に落下させないように注意してください。

### (2) 内部洗浄

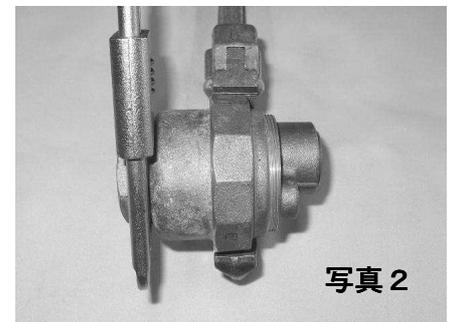
- ①空気弁の接続ねじ部側に取付けられているガスケット、ストレーナを取り外す。
- ②ねじ部側より水道水を注入し内部を洗浄する。(写真1)

### (3) 空気弁の取り付け

- ①洗浄が終了した空気弁にストレーナ、ガスケットを取り付け、配管に接続する。

### (4) 漏水の有無確認

- ①空気弁直下の止水栓を開栓する。
- ②充水後、漏水のないことを確認する。



## 3. メンテナンス基本手順 2

2項の「メンテナンス基本手順1」を行っても漏水が解消されない場合は、空気弁の内部部品に異物・スケール等が付着し止水を妨げている可能性があります。下記の手順により内部部品の洗浄が可能ですが、この作業は空気弁の性能を損なわないためにも充分注意して行ってください。

### (1) 空気弁を配管から取り外す

- ①空気弁直下の止水栓を閉栓する。
- ②空気弁を配管から取り外す。

### (2) 分解

- ①弁箱と弁蓋の適切な位置に工具を掛け、ねじ部を緩める。(写真2)

- ②弁箱(A)から弁蓋(B)・フロート(C)の順に取り外す。(写真3)



③小空気口の弁座受けは、工場出荷時に調整しておりますので分解しないでください。(写真4)

(3) 部品の洗浄

以下に示す部分について、傷を付けないように注意しながら洗浄してください。

①弁蓋：止水用ガスケット(写真5)

②弁蓋：小空気口の弁座(写真5)。弁ガイドを無理に広げないように注意して行う。

③フロート：弁座との接触部(写真6)

(4) 合成ゴム部品の傷の有無を確認

①弁蓋にセットされた小空気口の弁座(写真5)に傷がないか。

②フロートの弁座との接触部(写真6)に傷がないか。

※(3)及び(4)で傷があった場合、又は傷を付けてしまった場合、漏水の原因となりますので、最寄りの営業所までご相談ください。

(5) 組立

①小空気口の弁座に異物の付着がないことを確認してから、弁ガイドにフロートをセットする。(写真7)この時フロートがスムーズに動くことを確認する。

②止水用ガスケットがセットされていることを確認する。(写真5)

③弁箱と弁蓋を組付ける。

④ストレーナ、ガスケットを取付ける。

(6) 空気弁の取り付け

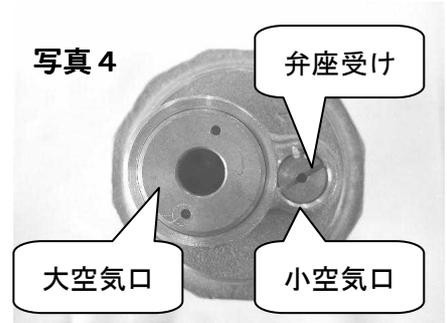
①組立てが終了した空気弁を配管に接続する。

(7) 漏水の有無確認

①空気弁直下の止水栓を開栓する。

②充水後、漏水のないことを確認する。

※洗浄後も漏水が解消されない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。



お問合せ・ご用命は最寄りの営業所へ

## 前澤給装工業株式会社

<http://www.qso.co.jp/>

本社〒152-8510 東京都目黒区鷹番2丁目14番4号

Tel. (03)3716-1511(代表)

※当手順書は、製品改良のため予告なく変更することがあります。

No. W6007 (2版) 2017.1 改訂